

## ■次世代型ハイブリッドデータベース:SmokeDB

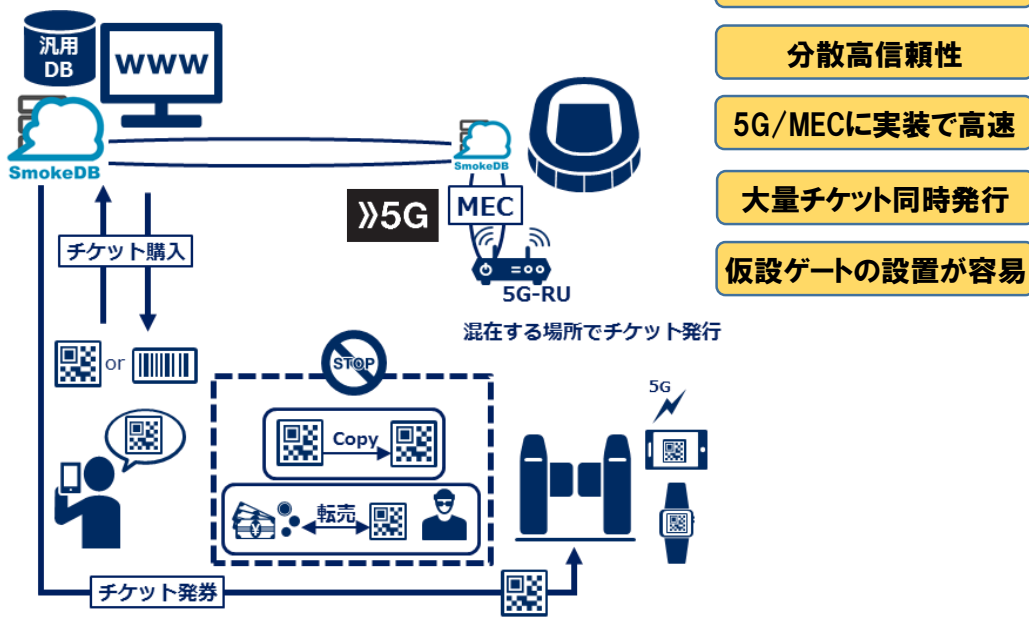
(Security Mighty Operation, Kindly and Easy blockchain DataBase)



- ・超高速ブロックチェーンを採用
- ・SQLと完全互換
- ・汎用型データベースとして活用可能

## ■ユースケース

・不正・転売チケット排除システム



## 提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- 既存データベース(SQL)との完全互換を実現し、ブロックチェーンによる耐改ざん性能やゼロダウンタイム、トレーサビリティなどの機能を提供できます。
- 上記機能を、ブロックチェーン専門技術者でなくとも汎用型データベースとして利用可能です。

## 概要

- 世界初のハイブリッドデータベース(ブロックチェーン+データベース)です。
- 多数のPCやサーバーが相互に通信を行い、分散してデータを保有するブロックチェーンの仕組みと、5Gの特徴である「大容量」、「低遅延」、「多数端末接続」は非常に相性が良く、SmokeDBの持つポテンシャルを最大限に引き出すことが可能です。
- SmokeDBの基盤技術としてアーリーワークス独自開発のGrid Ledger Systemを採用し、ブロックチェーンの特性と、データベースの持つ処理速度や加工のしやすさの両立を実現しています。
- 既存のブロックチェーンシステムでは性能が原因で実現できなかったシステムも、SmokeDBの高速処理により実現することが可能です。

## コラボレーションパートナー

- 株式会社アーリーワークス: 独自に開発した超高速ブロックチェーン「Grid Ledger System」を提供。
- 日本電気通信システム株式会社: 通信インフラを支える技術力をベースに高品質・高信頼性のシステムを提供。

